

おいでよ！鹿嶋市

○鹿嶋市の木 松

市の木である松は、かつては鹿嶋松とよばれ、市を代表する樹木として知られています。

○鹿嶋市の花 はまなす

太平洋側における、はまなすの南限地として、国の天然記念物に指定されています。

○鹿嶋市の鳥 きじ

鹿嶋では林や草原に生息し、車道からはなれた林道・農道をさんさくすると出会うこともあります。

～鹿嶋の七不思議～

・**零石**・・・地震おさえの石として有名です。伝説では、地下のなまずの頭をおさえているので、鹿嶋には地震がないと言われています。

・**御手洗池**^{みたらしいけ}・・・境内にある池で、深さは大人が入っても子どもが入っても胸の高さになると言われています。

他にも 末無川・御藤の花・海の音・根上がり松・松の箸という言い伝えがあり、七つ合わせて「鹿嶋の七不思議」といいます。

～鹿嶋市の祭り～

鹿嶋神宮に関連した歴史のある祭りがいろいろ行われています。その中の2つをしょうかいします。

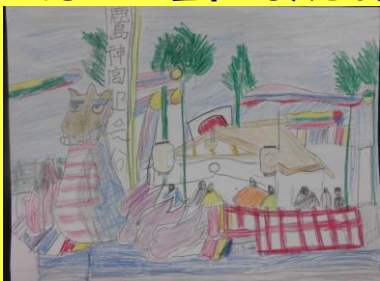
○提灯（ちょうちん）まち

毎年9月1日の夕方から行われます。この祭りは、青竹にたくさんの提灯をつけ、櫻門（ろうもん）前のかがり火に投げ入れるというものです。神宮の神が、みこしにのり外へ出てくる時に、提灯の明かりで神の足もとをてらし出すという言い伝えがあります。



○御船祭（みふねまつり）

12年に1度、午年の9月2日に行われます。鹿嶋神宮の神（たけみかづちのおおかみ）香取神宮の神（ふつめしのおおかみ）が水上で出会い、各地の様子をご覧になるという、鹿嶋神宮で大きな祭りです。水上の祭りとして、日本でも大きな祭りです。



竜の形をした船、五色の布をなびかせた船がきれいでした。馬に乗った人、見慣れない服を着た人の行列がとてもみ力的で、さすが12年に一度のお祭りだと思いました。12年後の次のお祭りもぜひ見たいです。

～塚原ト伝について～

塚原ト伝は、鹿嶋市がほこる偉人の一人です。ト伝は、戦国時代に活やくした剣の達人で、武者修行で全国を歩き、後に將軍足利義輝、武田信玄の家臣や伊勢国北島具教らの指南役もつとめました。



～ト伝の意味～

ト伝のトは、「ぼく」と読みますが、意味は「占い」ということです。これは鹿嶋神宮のト部という神職に關係しているそうです。

～まとめ～

- ・とても多くの自然があり、いい所なのでぜひ鹿嶋市に来てください。
- ・七不思議の事を調べるのは大変だったけど、いろいろわかってよかったです。
- ・祭りには、昔から人々の願いがこめられていることが分かりました。これからも、歴史のある祭りを大切にしていきたいと思います。
- ・ト伝の歴史がいつまでも人々に知られていくといいなと思いました。